

本田由紀さん(東京大学教授)

オンライン講演会

講師 本田由紀さん(東京大学大学院教育学研究科教授)

教育は何を 評価してきたのか

講演「教育は何を評価してきたのか」

「学力」や「能力」が、客観的であることを超え、性格やコミュニケーション力、表情や印象にまで拡張されようとしている。人間の人格や存在自身を「評価」し、管理しようとする方法が持ち込まれようとしている今、学校教育における「評価」とは何か考える総合研究会。

オンライン × 総合研究会
お申込みは教文会議HPから。
参加URLをメールにてお知らせします。

【教文第3回総合研究会】二〇二〇年

十一月二十八日(土) 午後二時

長野県教育文化会議

<http://kyobun-kaigi.org/>

E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp



講師
本田 由紀さん

東京大学大学院教育学研究学科教授



著者の演説！



プロフィール

本田 由紀（ほんだゆき）さん

1964年生まれ。東京大学大学院教育研究科教授。専門は教育社会学。著書に「教育は何を評価してきたのか」（岩波新書）ほか多数。

クレスコ（2020年11月号）に「少人数学級の実現をー日本の教育の現状と課題から考えるー」インタビュー記事が掲載されています。

学校教育と評価を考える総合研究会

学習指導要領は「何を知っているか」ではなく、「何のために学ぶのか」が重要だという視点で、知識・技能、思考力・判断力・表現力、そして学びに向かう力や人間性等などを学力と規定し、資質・能力を育む必要があるとしています。

資質・能力論に基づく学力をいかに評価するか、学校現場での研究が必要になっています。総合研究会では、人材育成ではなく人格の完成を目指す教育が必要であるとの視点に立って、本田由紀さんから学校教育における評価の変遷や現状をお聞きし、今後の評価の在り方や学校教育について研究討議をします。

日時 11月28日（土）14:00～16:00

講演会方式 オンライン

内容 講演会 本田由紀さん

「教育は何を評価してきたのか」

講演につづいて研究と討論を行います。

どなたでも参加できます。

教文会議HPからお申し込みください。

参加URLをメールにてお知らせします。

申し込み

%